（1P）

昭和に思いをはせて

　今や空前の「昭和レトロ」ブーム。県内には、昭和を感じさせるレジャー施設や当時から変わらない町並みが残っている場所も。懐かしい、だけど新しい。昭和に思いを巡らせて、当時の世界に浸ってみませんか？

（2-3P）

いざ、昭和へタイムスリップ！

　日本の元号の中で、最も長く続いた元号「昭和」＊。第2次世界大戦から終戦、GHQによる統治、高度経済成長期など、激動の約60年間でした。埼玉ではどんなことが起きていたのか、当時の様子をみてみましょう。

＊昭和元（1926）～昭和64（1989）年

「埼玉の昭和」の気になる出来事（高度経済成長期以降）

|  |  |
| --- | --- |
| 昭和の大合併  　「平成の大合併」という言葉を覚えている人も多いと思いますが、実は、昭和にも町村の大合併がありました。終戦直後、県内には323の市町村があり、昭和36年までに95市町村に再編。埼玉県は戦後の約30年間で人口が2.5倍近く増加し、47年には県内38市となり、市の数では北海道・大阪を抜き全国1位となりました。 | 年表をPick up！  ★太字は埼玉の出来事  昭和31年  7月　経済白書「もはや戦後ではない」  33年  **川口で東京オリンピックの聖火台（炬火台）製造はじまる**  12月　東京タワー完成  35年  1月　日米安全保障条約・地位協定調印  「三種の神器」が流行語に |
| 「埼玉都民」  　人口増加に対応するため、昭和30年代から大規模な団地が各地に作られました。当時、国内最大の約5,900戸入居可能な「草加松原団地」をはじめ、「武里団地」（春日部市）や「みさと団地」（三郷市）などが代表的です。これらの団地に合わせて鉄道の駅も開設され、東京へ通勤する人々が暮らしはじめました。 | 37年  **1月　県人口250万人突破**  **12月　草加松原団地入居開始**  38年  **8月　浦和・大宮の市街地整備計画決定** |
| オリンピックと国体  　39年10月10日から24日まで開催された東京オリンピックは、埼玉をはじめとした近郊の各県でも開催されました。県内では射撃、サッカー、ボートなどの競技が行われ、テレビの普及もあって大きく盛り上がりました。県民になじみある16のまが玉の「県章」もオリンピック開催に際して作られました。  　3年後の42年には国民体育大会（国体）が埼玉で開催され、埼玉が夏・秋ともに総合優勝しました。オリンピック、国体を通して県内のスポーツ施設や交通網の整備が進みました。  column　聖火台はメイド・イン・川口  東京オリンピックのメイン会場だった旧国立競技場の聖火台は、鋳物の町として知られる川口市の鋳物師（いもじ）鈴木萬之介・文吾親子が制作。今はその第1号機が川口市の青木町平和公園に展示されています。  ▲まが玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表している  ▲国体開催にあたり、県歌が制定  （作詞：岸上のぶを、補作：神保光太郎、作曲：明本京静）  聴いてみよう！  二次元コード：https://www.pref.saitama.lg.jp/a0314/saitama-profile/kenka.html?from=saida | 39年  **6月　聖火リレー県内入り**  10月 東海道新幹線開通  　　　東京オリンピック  11月　東京パラリンピック  40年  **5月　県政広報紙「さいたまけん」創刊**  **10月　県人口300万人突破**  42年  **10月　埼玉国体**  44年  **2月　県人口350万人突破**  45年  3月　大阪万国博覧会 |
| column なぜ11月14日が「県民の日」？  明治4年、廃藩置県とその後の統廃合により、同年11月14日（旧暦）に「埼玉県」が誕生しました。それからちょうど100年目に当たるのを記念し、昭和46年11月15日に記念式典が行われ、11月14日を「県民の日」としました。当時から公立の小・中・高校は休みとされておりい、県内各地で協賛イベントなどが行われています。 | 46年  10月　東北・上越新幹線着工  **11月　埼玉百年記念式典**  **県民の日制定**  47年  2月　札幌オリンピック  5月　沖縄返還協定発効  9月　日中国交正常化  48年  10月　オイルショック |

暮らしをのぞいてみよう！

衣

　戦後は、アメリカ文化の大きな影響を受け洋服が一般的に。ヘアスタイルなども多様化していきました。

食

　高度成長期以降は外食ブームとなり、県内でもファミリーレストランやファストフード店が続々と登場しました。

住

　各家庭に「三種の神器（白黒テレビ、洗濯機・冷蔵庫）、続いて「3C（カラーテレビ・クーラー・自動車）」が普及しました。

もっと学ぼう 県立歴史と民俗の博物館

　埼玉の歴史と民俗・美術工芸に関する資料を収集・保管し、調査研究の成果を展示公開・情報発信している博物館。県民の学習活動や交流の場としても活用されています。

昭和の原っぱ　入場無料の体験学習ゾーン

　昭和30～40年代のノスタルジックな雰囲気を再現した屋外施設。けん玉やベーゴマ、フラフープなど昔の遊びが体験できます。

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：月曜（祝日・振替休日、ゴールデンウィーク中・県民の日を除く）、年末年始

★大宮公園駅下車徒歩5分

入館料：常設展300円、企画展400円、特別展600円

　　　　（高校生・学生は半額、中学生以下は無料）

TEL 048・641・0890

遊んで、食べて 昭和を感じるスポットへ

　休日のお出掛けに足を運んでみてはいかが？

西武園ゆうえんち（所沢市）

　今や、埼玉の「昭和レトロ」スポットの代名詞。昭和の熱気あふれる体験やアトラクションを思いっきり楽しめます。

TEL 04・2929・5354　★西武園ゆうえんち駅下車すぐ

昭和レトロな温泉銭湯 玉川温泉（ときがわ町）

　全国でも有数のアルカリ性単純温泉。昭和35年代をイメージしてつくられた銭湯で、いたるところから昭和を感じさせる雰囲気が漂います。

TEL 0493・65・4977　★武蔵嵐山駅からバス「十王堂前」下車徒歩15分

番場通り（秩父市）

　秩父神社の参道として石畳みが敷き詰められた通り。食堂やカフェ、煙草屋、肉屋など昭和レトロな雰囲気たっぷりの建物を眺めながら散策を楽しんで。

問 秩父市観光課　TEL 0494・25・5209　★御花畑駅下車徒歩3分